



Kaneumi Motohiro

金海基浩

常務取締役

株式会社ユーコーリープロ

金海 基浩 東遊商は寄居、鹿沼、宇都宮と、野積み廃棄台の処理を合計3回やりました。つまり3回も苦い経験をしているわけです。2001年に鹿沼と宇都宮の野積み問題の実態調査をしたところ、鹿沼で有価物として収集・保管を行つていた業者に廃棄台を渡したことがあつた組合員は、141社中わずか3社でした。それでも中古となると東遊商に責任があるので、処理にあたつて相応の分担金を負担しました。こうした経験が伝わっているから、東遊商は廃棄台の問題に対する危機感がものすごく強いのです。



社会問題化した寄居町で野積みされた大量の廃棄台。処理作業は難航を極めた

続きは月刊アミューズメントジャパン
11月号をご覧ください

2月危機を どう乗り越えるか

使用済み旧規則機の適正処理へ

旧規則機撤去期限の2022年1月末まで残り3カ月余り。しかし、ホールやホールの倉庫、運送会社の倉庫などにはいまだに大量の旧規則機が存在し、その排出は必ずしも順調に進んでいない。そのため、撤去期限後の2月に大量の使用済み遊技機が発生する可能性が極めて高くなってきた。廃棄台の不法投棄が社会問題化した過去の教訓から業界は何を学ぶべきか。危機感を強め、東日本遊技機商業協同組合の中村昌勇理事長と、処理会社大手ユーコーリープロの金海基浩常務取締役が世代を超えて話し合った。

(本文敬称略)

の廃棄台合わせて推定約21万台の撤去が完了したんです。

金海 そういうことだつたんですね。

中村 当時は遊技機を破碎して埋めてしまっていう処理方法が横行していて、リサイクルという概念がなかった。そのなかでユーコーリープロさんがリサイクルという方向でどんどん処理を始めていたんです。廃棄台の処理にあたつて関東の処理会社に処理を打診しましたが、選んだところはみんな破碎・埋め立て。それが問題になりはじめて、リサイクルという言葉が出てきて、「一番きちんと作業ができる処理会社としてユーコーリープロさんに処理をお願いしたんです」。

金海 当社グループ会長から「昔はリサイクル屋と言われていた」と聞いていましたが、その意味がやつとわかりました(笑)。

中村 東遊商は寄居、鹿沼、宇都宮と、野積み廃棄台の処理を合計3回やりました。つまり3回も苦い経験をしているわけです。2001年に鹿沼と宇都宮の野積み問題の実態調査をしたところ、鹿沼で有価物として収集・保管を行つていた業者に廃棄台を渡したことがあつた組合員は、141社中わずか3社でした。それでも中古となると東遊商に責任があるので、処理にあたつて相応の分担金を負担しました。こうした経験が伝わっているから、東遊商は廃棄台の問題に対する危機感がものすごく強いのです。

金海 中村理事長は今回の旧規則機の撤去で何が課題だと思われていますか?

中村 今回とくに危惧しているのは、ホールさんが多額の費用を負担しなければならなくなる恐れがあります。それが保管です。仮に撤去期限後に処理会社が処理できないほど多台数の使用済み遊技機が排出された場合、処理会社がすべてを即座に受け入れることは不可能で

ました。最終的に4団体で撤去費用を分担して、約2年をかけて推定約5万台を撤去しました。

金海 その翌年(1995年)も栃木県に輸出するため集められた遊技機は、主に中国に輸出するため野積みされました。それでも寄居町と栃木では少し違っています。中村理事長は全商協の会長も務められていますが、かつての廃棄台問題に携わったのが主に東遊商さんということで、今日は東遊商の理事長として、廃棄台の適正処理に関する課題について改めて教えていただければと思います。

中村 まずは1994(平成6)年の廃棄台の野積み問題ですね。埼玉県の寄居町で、大量に野積みされたパチンコ・パチスロが見つかってました。廃棄台の山が壟を押して、児童が通る通学路にはみ出すほどになつた様子がテレビのニュースや新聞などで報道され、社会問題化したわけです。これに対応しなければいけないということで、ます埼玉県遊協から話があつて、埼玉県遊協と全関東連日工組、東遊商の4団体で対応に当たり

金海 当時はそういう運送業者さんが多かつたんですか?

中村 ある意味で、まだリサイクルとか適正処理という認識がなかつたんだと思います。そのときは、日工組が主体となって業界7団体で遊技機リサイクル検討委員会を立ち上げるなど、廃棄物処理のルールを決めていき、一方で栃木県との交渉にあたりました。ただ、普通の遊技機であれば問題ないのですが、野積みされている遊技機なので、もう泥のようにぐしゃぐしゃな状態で、これを片付けるのは大変な作業になるだろうと。そこで手を挙げてくれたのがユーコーリープロさんたんです。最終的には問題発覚から6年後の2002年に、鹿沼と宇都宮

金海 その後、中国に輸出するため集められた遊技機は、主に栃木で野積みされた遊技機は、主に中国に輸出するため野積みが問題になりました。それが年月の経過とともに売却・輸出が不可能になつたのが実態だった。ですから、廃棄に出されているホールさんは、どこでどう処理しているかをわかつてないので、ホールさんを責めようがない。運送業者に問題があつた状況でした。

金海 中国に輸出するため集められた遊技機は、主に栃木で野積みされた遊技機は、主に中国に輸出するため野積みが問題になりました。それでも寄居町と栃木では少し違っています。中村理事長は全商協の会長も務められていますが、かつての廃棄台問題に携わったのが主に東遊商さんということで、今日は東遊商の理事長として、廃棄台の適正処理に関する課題について改めて教えていただければと思います。

中村 まずは1994(平成6)年の廃棄台の野積み問題ですね。埼玉県の寄居町で、大量に野積みされたパチンコ・パチスロが見つかってました。廃棄台の山が壟を押して、児童が通る通学路にはみ出すほどになつた様子がテレビのニュースや新聞などで報道され、社会問題化したわけです。これに対応しなければいけないということで、ます埼玉県遊協から話があつて、埼玉県遊協と全関東連日工組、東遊商の4団体で対応に当たりました。ただ、普通の遊技機であれば問題ないのですが、野積みされている遊技機なので、もう泥のようにぐしゃぐしゃな状態で、これを片付けるのは大変な作業になるだろうと。そこで手を挙げてくれたのがユーコーリープロさんたんです。最終的には問題発覚から6年後の2002年に、鹿沼と宇都宮

金海 その後、中国に輸出するため集められた遊技機は、主に栃木で野積みされた遊技機は、主に中国に輸出するため野積みが問題になりました。それが年月の経過とともに売却・輸出が不可能になつたのが実態だった。ですから、廃棄に出されているホールさんは、どこでどう処理しているかをわかつてないので、ホールさんを責めようがない。運送業者に問題があつた状況でした。

金海 中国に輸出するため集められた遊技機は、主に栃木で野積みされた遊技機は、主に中国に輸出するため野積みが問題になりました。それでも寄居町と栃木では少し違っています。中村理事長は全商協の会長も務められていますが、かつての廃棄台問題に携わったのが主に東遊商さんということで、今日は東遊商の理事長として、廃棄台の適正処理に関する課題について改めて教えていただければと思います。

中村 まずは1994(平成6)年の廃棄台の野積み問題ですね。埼玉県の寄居町で、大量に野積みされたパチンコ・パチスロが見つかってました。廃棄台の山が壟を押して、児童が通る通学路にはみ出すほどになつた様子がテレビのニュースや新聞などで報道され、社会問題化したわけです。これに対応しなければいけないということで、ます埼玉県遊協から話があつて、埼玉県遊協と全関東連日工組、東遊商の4団体で対応に当たりました。ただ、普通の遊技機であれば問題ないのですが、野積みされている遊技機なので、もう泥のようにぐしゃぐしゃな状態で、これを片付ける